

令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	雲仙市立多比良小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0957-78-2031			氏名	小無田 貴
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	①わいせつ行為の禁止 ②飲酒運転の根絶 ③交通事故対応 ④体罰等不適切な指導の禁止 ⑤情報漏洩の防止について			
<u>取組の評価・改善点</u> ①については全職員が「わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシート」に記入し、自分の心と性的傾向について見つめ直すことができた。②と③については、昨年度同じ町内の教職員が起こした事件について考え、危機意識を高めた。④では「教職員のためのコンプライアンスハンドブック」を活用し、今年度の子供たちへの指導について、教師としての在り方を再確認することができた。⑤では教職員一人一人に業務用USBを配布し、データ管理の方法を確かめて情報漏洩防止に向けた意識を高めることができた。					
7月	実施テーマ	①不祥事発生における心理的要因について ②職員のメンタルヘルスについて			
<u>取組の評価・改善点</u> スクールカウンセラーの石橋先生による講義・演習によって、不祥事発生における心理的要因や不祥事防止のための職員のメンタルヘルスの重要性について理解を深めることができた。心理学の専門的な知見に基づいた話を聞き、自分の仕事や生活と関連付けながら考えることで、各職員の不祥事根絶に向けた意識を高めることができた。					
12月	実施テーマ	①不祥事全般について ②良好で温かい職員の関係づくりと職場の雰囲気づくり			
<u>取組の評価・改善点</u> 職員が企画、運営したボトムアップ型の研修を実施した。服務規律に関する川柳づくりとその川柳に関する情報交換の場では、各職員のこれまでの経験や日頃考えていることを交流することによって、互いに共感し合ったり、服務規律に向けた意識を高め合ったりすることができた。また、ワークショップ形式で、「不祥事根絶の歌」をつくり、発表し合うことで、職員同士の親和性も高まり、不祥事根絶の意識を全職員に浸透させることができた。					
2 服務規律委員会					
委員会名	多比良小学校服務規律委員会				
構成員	所属内委員（5名）、外部委員（1名 役職等：学校支援会議委員）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	ウ	エ	オ	コ				
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="checkbox"/> できた	<input type="checkbox"/> (○) 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
------------------------------	------------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="checkbox"/> (○) できた	<input type="checkbox"/> () 概ねできた	<input type="checkbox"/> () 少し不十分	<input type="checkbox"/> () できなかった
----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="checkbox"/> (○) できた	<input type="checkbox"/> () 概ねできた	<input type="checkbox"/> () 不十分だった	<input type="checkbox"/> () 実施していない
----------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

資料添付 有 ・ 無

<実施結果報告書作成に関して>

- ※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。
 ※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

- ア 運営の工夫
 ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。
- イ 具体的な事例の紹介
 ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。
- ウ 外部講師を招いての講話
- エ 体験的な研修
 ・ロールプレイを取り入れる。
- オ グループ討議
 ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
 ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。
- カ ワークシートの作成
 ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。
- キ チェックリストを作成
 ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。